

## 第 103 回紫友まち歩き

### 相模野に蛍を求めて

台風の影響などの天候、相手の蛍は超微妙な生き物ですので、現地で見ることができるか案内人としては心配が絶えない状況でした。が、蛍を見ることができる期間も短いことから、6月1日に実施することになりました。夕方集合し、少し暗くなってからの片道20分ほどの歩くと、現地での蛍見学のまち歩きが始まりました。蛍の群舞を見ることはできたのでしょうか

**日時： 2024年6月1日(土)**

集合時間：17時30分～18:30

集合場所：緑園都市駅そばバーミアン

参加者：まち歩き：4名

案内人：松永 017D

懇親会：今回は集合待ちの間に軽く飲食するだけで、蛍見学の後は解散

<まち歩き>：

#### ■まち歩き行程

事前環境調査→バーミアン集合・懇親  
→約20分ゆっくりのまち歩き→名瀬川源流の小川で蛍観察→解散

<スタート>

写真を見ながら楽しんでください。

#### ① 事前環境調査：

報告者は、暗くなっての蛍見学では、どのような地形・環境であったかが分からないと思い、少し早めに着き、事

前調査をすることにした。案内人とも、うまく出会うことができ、一緒に環境事前調査を実施した。名瀬たかの台は、昭和40年代に開発された戸建て団地で、「緑の海原に浮かぶ人口の島」的印象を目指したとパンフレットにありました。なんと60年ほど前の話。



蛍がすんでいる小川は、名瀬たかの台団地の端っこののと湧き水のおかげで、蛍が今でも住めるようなきれいな流れだ。



## ② バーミアン集合・懇親：

最後の一人は、18：45 分頃に電話で駅に着いたという。集合写真を撮る。



皆さん暗闇を覗いている。



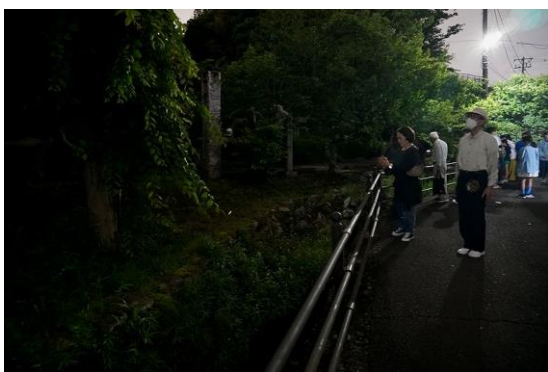
## ③ 約 20 分ゆっくりのまち歩き：

第 97 回まち歩き (2022. 12. 7 晩秋のさがみ野と久右衛門邸訪問) で歩いた道を思い出しながら進む。猿田彦神社の手前を左に曲がり、たかの台の端っこの小川に着く。既に蛍見学の人たちが多くいました。

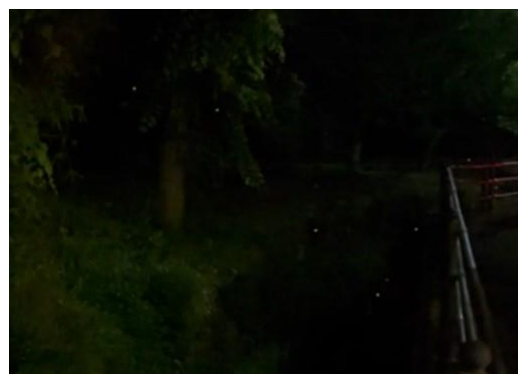
ジーと暗闇を見ていると小川の上や草っ原の草陰で小さくポッと数秒間だけ白く光る蛍がチラチラと見える。良かった、いた。

## ④ 名瀬川源流の小川で蛍観察：

近所の人たちだろうか、多くの見学人が集まっている。



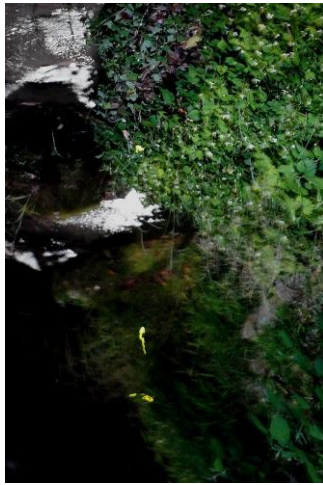
段々暗くなってきている。



上は案内人がビデオで撮影したもの。少し上流の方がもっといるというので小川の暗闇を眺めながら歩いて行く。群れて、あちこちで光っているとまではいかないが、3 匹から 5 匹ほどがそれなりにかたまってみえたのはうれしい。しかし、暗いのとほんの数秒での光りなので、はかなくポッと光る瞬間は写真ではうまく撮れない。



下の写真の黄色いのが蛍の光りだと思われる。実際には白い光りの粒です。



小川の上を飛んでいた蛍が間違っ  
て、道の上に飛んでくることがある。  
どうしたことか、仲間のアルコールの  
においに誘われたのか、近づいて捕獲  
されたようだ。手で包んで、写真を撮  
ってという。写真撮影。



赤い頭、黒い胴体、お尻が白く光るの  
で、源氏ボタルだという。手の上で光  
ってくれたので、写真に撮る。黄色く

光っている（本当は白）。



子供達も楽しんでいる。少女が、「ほ  
ほ 螢こい、あっちの水はにがい  
ぞ、・・・・・・」と歌っていた。季節  
の楽しみ方に触れた思いがしました  
との感想。



近所の住人が環境保全に努力してい  
るおかげで、今でも蛍を見ることがで  
きるのだと感心し、40分ほどあちこち  
でポッと光るのを探しながら、風流な  
ひと時を過ごしました。

#### ⑤ 解散：

20時も過ぎたので、西蓮寺バス停に向  
かう。ちょうど東戸塚行きのバスが来  
たので、1名乗車帰宅。さらに、自宅  
に帰る人、バスで緑園都市駅に向かう  
人で解散しました。

満足できた蛍見学でした。

以上